

あれ、もうこんな時間になっちゃった…
みんな待ってるだろうし、早く戻らなきゃー！

えっ？……だ、誰？？

この小さい体で何だよ、この力は……
誰かに見られる前に、さっさと運ばないと。

がー

万一の事態を防ぐために鎖を用意しておいて正解だった。
予想以上に力が強くて驚いた。

この小さな体にどうしてそんな力が出るのか……
危機的状況で発現した身体の防御機制だろうか。

REC

ここまで運ぶのに時間がかかったせいかな……
彼女の睡眠状態はそれほど深くないようだ。

頸の弛緩具合もまだ十分ではない。
まあ、問題ない。どうせ用意した麻酔薬は十分にあるから。

小柄な体なのに意外と胸がある。
水着という服装のせいで余計に強調されている。

く……

こうして横からタイトに押されると、前方にびっくりと持ち上がった形がきれいに見える。



REC

これだけなら当分は大丈夫だろう。
彼女の両眼の瞳が完全に後ろに回っている。

ガ——

ガ——

良い夢を見ると言いたいところだが、おそろく夢すら
見られない深い睡眠状態になっている。

REC

顎も完全に緩んで回が大きく開いている。

んがー...

が

舌の筋肉も弛緩して前に突き出しているところを見ると、
麻酔薬の調整を少し失敗したかもしれない。

REC

キンキン

一日中海で遊んでいたせいか……彼女の足から海の匂いがする。

いや、もしかすると彼女の汗の匂いか。
いずれにせよ、香ばしくて美味しそうな匂いだ。

REC

やはり少し塩辛い。
同時に、微妙に酸味も混じっている気がする。

ドロドロ

ドロドロ

いずれにしても、ずっと舐めていたくなる味と香りだ。

REC

足を舐めた程度では彼女の睡眠状態に影響はない。
当然と言えば当然だが。

屈強な成人男性でもう秒で倒れるほどの強力なものなのだから。



REC

ん？もう濡れているんじゃないか。
まさか無意識のうちに感じてしているのか？

それなら面白い実験ができそうだ。
麻酔が効いているのモニタリングとは。

ドク・ドク

再び彼女の瞳が上の方に向かっていくのが見える。

カー

カー

ハイ

このような刺激なら、無意識下でどんな反応を示すだろうか。
手足をすべて鎖で固定してあるから、大きな動きはできないだろうが。

やはりそうなる。
結局、あんな刺激が続くとどうなるしかない。

かー...

んがー

チンポ

尿道と膣回がぼくっついているようなものだから、
膣回の刺激で尿道の筋肉が緩むのは当然だ。



REC

脱がせていた水着をまた着せたが……やはり大変だ。
普通の服と違ってタイトすぎて体力をかなり消耗する。





REC

水着を着せるのに時間がかかりすぎたせいか。
彼女の睡眠深度が浅くなっている気がする。

仕方なくもう一度麻酔をかけるしかない。
実はこのタイミングが夢を見る時期でもあるが、
同時に覚醒の危険も高まるから、安全のためには。





REC

良い感じに顎が緩んだ。
呼吸も正常な深い睡眠状態に戻っている。

それでも麻酔薬を続けすぎるのは良くないから、
早く終わらせるべきだ。





REC



鎖を使ったのは本当に良い選択だった。
こうして力を入れずに弛緩した体を自由に動かせる。

特性上、体位の自由度が低いという欠点はあるが。



REC



彼女の肛門も良い具合に緩んでいる。

さっき一度出してしまったせいで、
まだその痕跡が残っている。

これからやることからすれば、
その方が都合がいいだろう。

大月ひまわり



REC



特に外に出すつもりはなかったのだが……
水着の感触と同時に感じる彼女の柔らかいあそこの
感触が合わさって、つい外に出してしまった。



REC



うむ……それにしても手足の鎖はこの場面では
やはり少し邪魔だ。

もう終盤でもあるし、鎖は外してしまおうか。

どうせ彼女の意識が戻るにはまだ時間がかかりそうだし。

REC

やはりきついな。
体が小さい分、どんな感じになるか気になっていたが。

それでも麻酔の効果のおかげか、入る分には
柔らかくて、本当に極端な体験ができる。





REC



さっきのようにまたあそこに刺激が入ると、
再び尿が出てき始めた。

彼女の弱点はこの穴かもしれない。

もし意識があったらどんな反応と声が出るのか、
本当に気になる。

びゅるるー

びゅるるー

スミュー



REC



定通り二度目は中に処理したが……
これで大丈夫だろうか。

大丈夫じゃなくても、
まあ……俺が気にする事じゃない。

トロォー



REC



少し休んでから後始末をして、元のビーチに戻しておこう。
彼女はおそらく少し気絶していたただけだと思うだろう。

こうして自分のすべてが記録されているとは知らずに。
可能なら、次も機会があればいいな。

ズルズル